

## 4. 総会等報告

### (1) 2017 年度地域安全学会総会 報告

#### 1) 2016 年度事業報告

##### ① 理事会の開催

2016 年度は理事会を下記のとおり開催した。

第1回 2016 年 6 月 3 日 (土) 高知、第2回 2016 年 7 月 16 日 (土) 東京

第3回 2016 年 9 月 10 日 (土) 東京、第4回 2016 年 11 月 5 日 (土) 静岡

第5回 2017 年 1 月 21 日 (土) 東京、第6回 2017 年 3 月 25 日 (土) 東京

##### ② 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した。

日時：2016 年 6 月 3 日 (金)～4 日 (土)

場所：高知県県民文化ホール

i. 一般論文発表：6 月 3 日 (金) 13:00-16:00、57 件

ii. 2016 年度地域安全学会総会：6 月 3 日 (金) 16:30～18:15

iii. シンポジウム「地域のチカラで南海トラフ地震と戦う」：6 月 4 日 (土) 9:30～11:30

司会・進行：藤岡正樹 (高知大学地域協働学部・講師)

(a)話題提供：大槻知史 (高知大学地域協働学部・准教授)

・地域のチカラで南海トラフ地震とたたかう

～未災地・高知が「ワカモノ世代」を育て・活かすには?～

(b)学生団体による地域活動報告

・イケあい地域災害ボランティアセンター (高知県立大学)

・KPAD (高知工科大学)

・防災すけっと隊 (高知大学)

(c)ディスカッション

・ワカモノ世代と考える、未災地・高知の防災のあり方

iv. 現地見学会：6 月 4 日 (土) 12:00～16:00

津波避難施設の視察

##### ③ 東日本大震災連続ワークショップ 2016 in 石巻

下記の企画を実施した。

日時：2016 年 8 月 5 日 (金)～6 日 (土)

場所：宮城県石巻市中央公民館

i. 東日本大震災ワークショップ：24 件

ii. 被災地および復興状況見学会

##### ④ 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した。

日時：2016 年 11 月 4 日 (金)～5 日 (土)

場所：静岡県地震防災センター

i. 査読論文発表：29 件、一般論文ポスター発表：40 件

ii. 文部科学省リスクコミュニケーション事業特別セッション

##### ⑤ 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- ・春季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.38」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No.28（電子ジャーナル論文）、No.29（研究発表会論文）」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.39」を刊行した。
- ・地域安全学会論文集No.30（電子ジャーナル論文）をホームページ上に公開した。

⑥ 地域安全学会論文賞・論文奨励賞・年間優秀論文賞の選出

- ・査読論文（電子ジャーナル）No.28(2016.3)、および査読論文（研究発表会）No.29(2016.11)に掲載された合計 45 編の論文を対象として、2016 年地域安全学会論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、以下の論文が選出された。
  - 「東日本大震災後の自主住宅移転再建に伴う居住地の移動と意思決定プロセスー 岩手県陸前高田市でのインタビュー調査を通してー」（地域安全学会論文集 No.29）  
柄谷友香氏（名城大学）、近藤民代氏（神戸大学）
- ・査読論文（研究発表会（秋季））の募集に対し、発行論文集 No.29 に 29 編の論文が掲載され、審査会による審議の結果、以下の 4 編の論文の筆頭著者が選出された。
  - 「リスク回避に影響を及ぼす防災リテラシーとハザードリスク及び人的・物的被害理解とのノンリニアな相互作用に関する研究:2015 年兵庫県県民防災意識調査の結果をもとに」  
川見 文紀 氏（同志社大学社会学部社会学科）
  - 「延焼クラスタを考慮した地震火災時における避難危険性評価に関する研究」  
渋谷 孝行 氏（東京消防庁震災対策課）
  - 「既往研究成果の系統的レビューに基づく大雨災害時の住民避難の阻害要因の体系的整理」  
田中 皓介（筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻）
  - 「火山災害から「生きる力」を高めるための火山防災教育プログラムの開発」  
永田 俊光（宇都宮地方気象台）
- ・上記 45 編の論文を対象に年間優秀論文賞の審査を行い、以下の 1 編の論文の筆頭著者が選出した。
  - 「東京電力福島第一原子力発電所事故後の放射性物質汚染に関する消費者心理の調査研究ー福島における農業の再生、風評被害払拭のための要因分析ー」（地域安全学会論文集 No.29）  
関谷直也氏（東京大学）

⑦ 地域安全学会「技術賞」の選出

- 10 回目を迎えた地域安全学会技術賞の募集に対し、3 件の応募登録があり、審査委員 9 人による厳正な審査の結果、果、以下の 1 件に授賞することを決定した。
- 「地震時建物変位計測システム」 山田哲也氏（三井住友建設株式会社）

⑧ 地域安全学会「優秀発表賞」の選出

- ・第 38 回（2016 年度）地域安全学会研究発表会（春季）において、57 編の口頭発表が行われた。審査の結果、以下の発表を行った 2 名を授賞対象者として選出した。
  - 「福島県立医科大学附属病院における災害研修プログラムの実施と検証ー事務系職と看護職の連携ー」  
安藤 菜々 氏（摂南大学大学院理工学研究科社会開発工学専攻）
  - 「家庭版災害時アクションカードを活用した津波避難訓練の取り組み」  
湯浅 恭史 氏（徳島大学環境防災研究センター）
- ・第 39 回（2016 年度）地域安全学会研究発表会（秋季）において、40 編のポスター発表が行わ

れた。審査の結果、以下の発表を行った4名を授賞対象者として選出した。

- i. 「地震津波時における消防団員の参集意向―千葉県8市町村の沿岸部消防団を対象として―」  
鈴木雄太氏（筑波大学大学院システム情報工研究科リスク工学専攻）
- ii. 「東日本大震災後の自主住宅移転再建に果たした民間事業者の役割と課題」  
岩附千夏氏（名城大学院都市情報研究科）
- iii. 「地域安全学 夏の学校 2016―基礎から学ぶ防災・減災―」：地域安全学領域における若手人材育成その1」  
佐藤翔輔氏（東北大学災害科国際研究所）
- iv. 「夏季酷暑環境による健康被害:WBGTをもとにした地域間比較」  
曽根拓哉氏（大阪市立学生生活科部）

⑨ ニュースレター発行とホームページ管理

2016年度はニュースレターNo.95―No.98の計4号を発行し、学会ホームページ上に掲載した。今後、学会の広報活動の柱としてホームページを位置づけ、引き続き内容の充実を図っていくこととした。

⑩ 会員メーリングリストによる情報提供

会員への迅速な情報発信を目指して、メールによる情報配信を行った。個人情報保護を考慮しつつ、効率的な会員サービスと会員管理を進めた。

⑪ 企画研究小委員会研究活動

企画研究小委員会において2テーマ について研究活動を実施した。

⑫ 東日本大震災関連活動

- i. 宮城県石巻市において「東日本大震災連続ワークショップ2016 in 石巻」を開催した。
- ii. 東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「地域安全学会東日本大震災特別論文集No.5」を刊行した。

⑬ 国際学術交流

2016年10月17～20日にニュージーランドのウェリントンで第4回国際都市防災会議(ICUDR)が開催され、日本側からは日黒副会長が基調講演を行い、日本の発表は44編であった。

⑭ 防災学協会連合組織への参加

「防災学協会連携体」が主催、連携するシンポジウム等に、下記の会員が参加し報告を行った。

- i. 第1回 防災推進国民大会ワークショップ（2016年8月28日）  
ワークショップ1「火山災害にどう備えるか」  
関谷直也（東京大学）：火山災害にどう備えるか～警報伝達と避難対策～
- ii. 第1回 防災学術連携シンポジウム（2016年8月28日）  
52学会の結集による防災への挑戦 - 熊本地震における取組み -  
石川永子（横浜市立大学）：震災発生一か月後の避難所運営・環境に関する調査報告～  
熊本市内の避難所悉皆調査より～
- iii. 日本集団災害医学会 防災学術連携体セッション企画  
池内淳子（摂南大学）

⑮ シンポジウム等の共催・参加

2016年7月7日～8日 日本学術会議（東京都港区六本木7-22-34）で開催された「日本安全工学シンポジウム－技術と倫理－」を共催した。このシンポジウムは、日本学術会議主催であり、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等が開催された。

⑩ 30周年記念シンポジウムの開催

2017年3月4日（木）に、東京大学生産研究所 An 棟において、30周年記念事業として記念シンポジウムを開催した。

「近代以降の都市防災の潮流と地域安全学会」村尾修（東北大学）

【第1部】

講演「私が見て来た社会と地域安全学会」

伊藤滋（初代会長 1986年度-1987年度）

村上處直（第6代会長 1993年度-1994年度）

【第2部】

報告「地域安全学会の研究動向の変遷と特徴」

近藤伸也（宇都宮大学）

秦康範（山梨大学）

パネルディスカッション：「1986-20XX：地域安全学会－世代を超えて－」

・進行 目黒公郎 /東京大学

・パネリスト

翠川三郎（東京工業大学・第11代 2005年度-2006年度会長）

重川希志依（常葉大学・第13代 2009年度-2011年度会長）

立木茂雄（同志社大学・第15代 2014年度-2015年度会長）

加藤孝明（東京大学）

秦康範（山梨大学）

⑪ 文部科学省リスクコミュニケーションのモデル形成事業の実施

- i. 2016年度から、文部科学省の補助金によるリスクコミュニケーションのモデル形成事業として「行政・住民・専門家の協働による災害リスク等の低減を目的とした双方向リスクコミュニケーションのモデル形成事業」を実施し、14の大学・研究機関の研究者により、行政・住民・専門家といった多様なステークホルダーが参画したマルチハザード（防犯も含む）対応の地区防災計画づくり等支援をワークショップ形式で進めるほか、行政の委員会等への参加や行政を対象とした講演、行政と連携した住民・事業者等への講演を通じて、地域社会の災害リスク等の低減に資するリスクコミュニケーションを実践した。
- ii. 地域安全学 夏の学校2016－基礎から学ぶ防災・減災－を、2016年8月7日：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）において実施した。
- iii. 秋季研究発表会において、本事業に関する特別セッションを設け、各研究者のリスクコミュニケーションに関する調査・研究についてのパネルディスカッションを開催した。
- iv. 一般社団法人として、本事業を実施する受け皿として、会計関連規程（7規程、2様式）、研究倫理・コンプライアンス関係規程（11規程、2様式、1マニュアル）を整備し、事業参画者への規程遵守を図った。

⑫ 役員選挙の実施

2017年度新役員の実選を実施し、理事14名、監事1名を選出した。

⑩ 会員数および年会費納入（2017年3月末）

	会員数	2016年度 会費納入状況
賛助会員	2	2
正会員	532	488
学生会員	85	62

2) 2016年度決算

決算に関して、宮野監事、山崎監事および重川監事による監査を受けた。指摘された修正を取り入れた以下の決算報告に対して承認をいただいた。

【貸借対照表】

(単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	341,005	未払金	4,927,123
普通預金 (うち、国際交流事業用資金)	11,805,334 143,440	預り金	16,845
【口座別内訳】 ゆうちょ銀行	143,056	前受金	102,000
振替預金	42,666	仮受金	13,000
春季研究発表	1,570,211	未払法人税等	82,900
秋季研究発表	1,278,701		
りそな査読論文	1,545,032		
りそなワークショップ*	650,058		
りそなりスコミ事業	6,575,610		
前払費用	0		
商品	2,309,451		
未収会費	593,000		
未収入金	0		
ソフトウェア	71,148	負債合計	5,141,868
		その他一般正味財産	9,978,070
		正味財産合計	9,978,070
資産合計	15,119,938	負債・正味財産合計	15,119,938

## 【損益計算書】

(単位：円)

科 目	金 額
<b>【Ⅰ 収入】</b>	
1 会費収入	4,164,000
2 寄付金収入	0
3 受取助成金	10,000,000
4 事業収入	
ア 梗概集登載料	1,175,000
イ 梗概集販売料	382,437
ウ 論文集登載料	1,375,000
エ 論文集査読料	690,000
オ 論文集販売料	186,043
カ DVD販売料	15,140
5 雑収入	
ア 懇親会費	1,203,000
イ 視察費	310,000
ウ その他	0
6 受取利息	96
収入合計	19,500,716
<b>【Ⅱ 支出】</b>	
1 人件費	547,800
2 通信・広報費	221,019
3 印刷・編集費	1,874,314
(印刷編集費棚卸対応分)	-134,353
4 会議費	162,000
5 旅費交通費	3,278,923
6 交際費	1,030,424
7 委託費	3,553,227
8 消耗品費	1,922,728
9 事務用品費	4,655
10 減価償却費	71,148
11 支払手数料	36,288
12 謝金	164,300
13 補助金	30,000
14 事務局費	1,953,000
15 租税公課	1,661
16 運営費	1,301,240
17 雑費等	298,000
支出合計	16,316,374
税引前当期利益	3,184,342
法人税等	82,900
当期利益	3,101,442
前期繰越利益金額	6,876,628
次期繰越利益金額	9,978,070

## 2016年度地域安全学会収支計算書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
1.会費収入	3,823,400	3,803,000	20,400	正会員:7,000円×497名 正会員:2,000円×1名(一部未収) 学生会員:2,000円×61名 賛助会員:100,000円×2社
2.寄付金収入	0		0	
3.受取助成金等	10,000,000	10,000,000	0	リスクコミュニケーション特別企画研究(28年度分)
4.春季研究発表会				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	300,000	495,000	▲ 195,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)
イ 梗概集販売料	120,000	178,820	▲ 58,820	1冊:4,000円×42部+CD1,000×10枚 140×1枚+送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	300,000	462,000	▲ 162,000	懇親会参加費:6,000円×77名
イ 視察費	90,000	213,000	▲ 123,000	見学会参加費:3,000円×71名
ウ その他	0		0	
小 計	810,000	1,348,820	▲ 538,820	
5.秋季研究発表会				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	300,000	400,000	▲ 100,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)
イ 梗概集販売料	160,000	144,285	15,715	1冊:4,000円×34部、CD@150@1,000@140×8枚+送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	387,500	360,000	27,500	懇親会参加費:7,500円×37名、2,500円×33名
イ 視察費	0		0	
ウ その他	0		0	
小 計	847,500	904,285	▲ 56,785	
6.東日本大震災連続ワークショップ				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	200,000	280,000	▲ 80,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)
イ 梗概集販売料	90,000	59,332	30,668	1冊:2,000円×29部+送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	195,000	177,000	18,000	懇親会参加費:6,000円×26名、3,000円×7名
イ 視察費	90,000	97,000	▲ 7,000	見学会参加費:3,000円×32名、1,000円×1名
ウ その他	0		0	
小 計	575,000	613,332	▲ 38,332	
7.学術				
1)事業収益				
ウ 論文集登載料	1,500,000	1,375,000	125,000	登載料(2万円+5,000円/2ページ)×60名
エ 論文集査読料	600,000	690,000	▲ 90,000	査読料:1編10,000円
オ 論文集販売料	160,000	186,043	▲ 26,043	1冊:4,000円×46部+送料
カ DVD販売料	20,000	15,140	4,860	1枚:2万円(会員価格)×1枚+送料
小 計	2,280,000	2,266,183	13,817	
8.受取利息	1,000	96	904	
9.その他	0	204,000	▲ 204,000	30周年記念シンポジウム懇親会参加費
収入合計	18,336,900	19,139,716	▲ 802,816	

支出の部

(単位：円)

科目	①予算	②決算	比較①-②	備考
1.事務局・総務				
2) 通信費・広報費	80,000	82,250	▲ 2,250	切手、送料、電話代、宅急便等
3) 印刷編集費	5,000	12,960	▲ 7,960	コピー代、封筒印刷代
4) 会議費	10,000	0	10,000	監査会場代
5) 旅費交通費	200,000	191,670	8,330	監査の為の交通費、大会等事務局交通費、宿泊費
6) 文際費	30,000	0	30,000	
7) 委託費	324,000	324,000	0	委託費月27,000円 H28年4月～H29年3月
8) 消耗品費	30,000	20,373	9,627	消耗品、10万円以下の備品
9) 事務用品費	10,000	4,655	5,345	事務用文具等
11) 支払手数料	5,000	3,456	1,544	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	0	
14) 事務局費	1,728,000	1,953,000	▲ 225,000	委託費@144,000×4-10月、@169,000×11月、@194,000×12-3月
15) 租税公課	10,000	1,661	8,339	源泉所得税、収入印紙代等
16) 運営費	0	0	0	
17) 雑費等	0	0	0	
99) 予備費	0	0	0	
小計	2,432,000	2,594,025	▲ 162,025	
2.広報				
7) 委託費	30,000	23,760	6,240	HP情報更新料・サーバ利用料
11) 支払手数料	1,000	216	784	銀行振込手数料
小計	31,000	23,976	7,024	
3.総会・理事会				
1) 人件費				
ア アルバイト給料	0		0	
2) 通信費・広報費	90,000	80,193	9,807	総会の案内資料印刷・発送代
3) 印刷編集費	60,000	61,416	▲ 1,416	案内送付用封筒・ハガキ・案内資料印刷・メダル作成代
4) 会議費	130,000	162,000	▲ 32,000	理事会 会場費
5) 旅費交通費	400,000	535,630	▲ 135,630	理事会 旅費交通費
11) 支払手数料	5,000	5,832	▲ 832	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	0	
小計	685,000	845,071	▲ 160,071	
4.学術				
1) 人件費(アルバイト給料)	0		0	論文データ等アップデート作業代
2) 通信費・広報費	90,000	47,844	42,156	論文発送料
3) 印刷編集費	830,000	803,088	26,912	論文集No.28,29印刷料250部、コピー代
4) 会議費	50,000	84,410	▲ 34,410	学術委員会昼食代、飲食代
5) 旅費交通費	400,000	338,300	61,700	学術委員会参加交通費
7) 委託費	518,400	525,733	▲ 7,333	研究発表会論文システム運営費 =研：318,600+電：199,800
8) 消耗品費	5,000	0	5,000	消耗品、10万円以下の備品
11) 支払手数料	5,000	4,320	680	銀行振込手数料
16) 運営費	0	0	0	
17) 雑費等	0	0	0	
小計	1,898,400	1,803,695	94,705	
5.国際交流				
11) 支払手数料	10,000	0	10,000	
13) 補助等	0	0	0	
16) 運営費	100,000	0	100,000	
小計	110,000	0	110,000	

科目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
6.春季研究発表会				
1) 人件費(アルバイト給料)	10,000	6,400	3,600	
2) 通信費・広報費	3,000	4,308	▲ 1,308	梗概集運送料
3) 印刷編集費	180,000	199,638	▲ 19,638	梗概集No.38 100部、CD50部
5) 旅費交通費	280,000	270,180	9,820	現地見学会バス、授賞者旅費
6) 交際費	300,000	443,760	▲ 143,760	懇親会費用
8) 消耗品費	5,000	0	5,000	賞状用紙他
9) 事務用品費	5,000	0	5,000	文房具代
11) 支払手数料	5,000	1,512	3,488	銀行振込手数料
12) 謝金	100,000	0	100,000	パネリスト、パフォーマー謝礼
16) 運営費	90,000	110,260	▲ 20,260	会場費、現地見学会費用(昼食代含む)
17) 雑費等	0		0	
小 計	978,000	1,036,058	▲ 58,058	
7.秋季研究発表会				
1) 人件費(アルバイト給料)	40,000	36,400	3,600	
2) 通信費・広報費	5,000	0	5,000	梗概集送料、賞状送付料
3) 印刷編集費	120,000	136,576	▲ 16,576	梗概集No.39 80部
4) 会議費	0	0	0	
5) 旅費交通費	30,000	77,140	▲ 47,140	アルバイト交通費、授賞者旅費
6) 交際費	387,500	389,664	▲ 2,164	懇親会会場代、料理代
8) 消耗品費	5,000	591	4,409	賞状、賞状用筒、備品
9) 事務用品費	0	0	0	
11) 支払手数料	5,000	864	4,136	銀行振込手数料
12) 謝金	30,000	30,000	0	パフォーマー謝金
16) 運営費	260,000	365,112	▲ 105,112	昼食、飲み物代、パネル設置代
17) 雑費等	0		0	
小 計	882,500	1,036,347	▲ 153,847	
8.東日本大震災連続ワークショップ				
1) 人件費(アルバイト給料)	40,000	5,600	34,400	
2) 通信費・広報費	5,000	3,304	1,696	論文集送料
3) 印刷編集費	140,000	210,384	▲ 70,384	特別論文集No.5(CD付) 80部、配布資料代
5) 旅費交通費	120,000	1,780	118,220	アルバイト交通費
6) 交際費	195,000	167,000	28,000	懇親会
11) 支払手数料	5,000	864	4,136	銀行振込手数料
12) 謝金	100,000	20,000	80,000	講師謝礼
16) 運営費	90,000	113,940	▲ 23,940	会場費、見学会、昼食代等
17) 雑費等	0	0	0	
小 計	695,000	522,872	172,128	
9.リスクコミュニケーション特別企画研究小委員会				
16) 運営費	10,000,000	7,261,685	2,738,315	内訳は以下の通り
1) 人件費(アルバイト給料)		454,664		データ入力業務
2) 通信費・広報費		3,120		郵送料
3) 印刷編集費		355,968		防災トレーニングマニュアル印刷費
5) 旅費交通費		1,742,325		フィールドワーク、WS等の旅費交通費
7) 委託費		2,679,734		調査等業務委託費
8) 消耗品費		1,896,022		カメラ、PC、プリンター等備品、文具購入代金
11) 支払手数料		15,552		銀行振込手数料
12) 謝金		114,300		講師謝金
小 計	10,000,000	7,261,685	2,738,315	

科目	①予算	②決算	比較①-②	備 考
10.その他事業				
5) 旅費交通費	200,000	121,898	78,102	研究小委員会(2つ)の旅費交通費
11) 支払手数料	5,000	3,672	1,328	銀行振込手数料
13) 補助等	30,000	30,000	0	安全工学シンポジウム共催分担金、防災学術連携体会費
16) 運営費	1,100,000	802,280	297,720	学会30周年記念事業運用費 会場費+印刷費+その他 雑費: 予算1,000,000円 決算: 687,536円 安全・安心若手研究会の運営費: 予算100,000円 決算 114,744円
17) 雑費等	0	0	0	
小 計	1,335,000	957,850	377,150	
支出合計	19,046,900	16,081,579	2,965,321	

収入-支出	3,058,137
-------	-----------

なお、科目間の流用を認めます。

2017年6月9日

上記の通り収支決算を報告いたします。

地域安全学会

監事 山崎 文雄

監事 重川 希志依

監事 宮野 道雄



### 3) 2017年度役員改選結果

#### ① 改選対象役員

##### i. 理事

池田 浩敬	常葉大学大学院環境防災研究科
稲垣 景子	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院
加藤 孝明	東京大学生産技術研究所
清野 純史	京都大学大学院工学研究科
越村 俊一	東北大学災害科学国際研究所
指田 朝久	東京海上日動リスクコンサルティング
庄司 学	筑波大学システム情報系
立木 茂雄	同志社大学社会学部
能島 暢呂	岐阜大学工学部
藤本 一雄	千葉科学大学危機管理学部
村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所
目黒 公郎	東京大学 生産技術研究所
八木 宏晃	静岡県交通基盤部
矢代 晴実	防衛大学校システム工学群

##### ii. 監事

重川 希志依	常葉大学大学院環境防災研究科
--------	----------------

以上、理事14名、監事1名

#### ② 選出役員

規程により以下の理事、監事を無投票で選出した。

##### i. 理事

池田 浩敬	常葉大学大学院環境防災研究科
稲垣 景子	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院
加藤 孝明	東京大学生産技術研究所
清野 純史	京都大学大学院工学研究科
越村 俊一	東北大学災害科学国際研究所
指田 朝久	東京海上日動リスクコンサルティング
庄司 学	筑波大学システム情報系
立木 茂雄	同志社大学社会学部
能島 暢呂	岐阜大学工学部
藤本 一雄	千葉科学大学危機管理学部
村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所
目黒 公郎	東京大学 生産技術研究所
八木 宏晃	静岡県交通基盤部
矢代 晴実	防衛大学校システム工学群

##### ii. 監事

重川 希志依	常葉大学大学院環境防災研究科
--------	----------------

以上、理事14名、監事1名

#### 4) 2017年度事業計画

##### ① 理事会の開催

2017年度は理事会を下記のとおり開催する。

- 第1回 2017年 6月9日 (土) 高知 (沖縄県石垣市商工会ホール)
- 第2回 2017年 7月15日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第3回 2017年 9月9日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第4回 2017年 11月10日 (土) 静岡 (静岡地震防災センター)
- 第5回 2018年 1月20日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第6回 2018年 3月24日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)

##### ② 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催する。

- 日時：2017年6月9日 (金)～10日 (土)
- 場所：沖縄県石垣市商工会館・商工会ホール  
(〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町1-1-4)

##### ③ 東日本大震災連続ワークショップ2017 in 釜石の開催

- 日時：2017年8月5日 (土)～6日 (日)
- 場所：岩手県釜石市釜石情報交流センター (〒026-0024 岩手県釜石市大町1-1-10)
  - ・市の関係者による基調講演、研究発表会
  - ・現地見学会、ディスカッション

##### ④ 秋季研究発表会の開催

- 秋季研究発表会を下記のとおり開催する
- 日時：2017年11月10日 (金)～11日 (土)
- 場所：静岡県地震防災センター

##### ⑤ 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- i. 春期研究発表会において「地域安全学会梗概集No.40」を刊行、秋期研究発表会において「地域安全学会梗概集No.41」を刊行、し、優秀発表賞を選出する。
- ii. 地域安全学会論文集の論文募集は年2回とし、今年度は地域安全学会論文集No.31、同No.32 (電子ジャーナル論文) の論文を募集する。
- iii. 秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No.30、No.31」を刊行し、地域安全学会論文奨励賞を選出する。
- iv. 地域安全学会論文集No.32 (電子ジャーナル論文) をホームページ上で公開する。
- v. 地域安全学会論文集 (No.30、No.31) を対象に地域安全学会論文賞および年間優秀論文賞を選出する。

##### ⑥ 広報活動の強化と会員管理

サービスの向上を目指して、会員へのメールによる各種情報配信、ホームページによる情報提供、印刷物による情報発信について、各々の機能分化した情報提供を実施する。

##### ⑦ 地域安全学会技術賞の選出

表彰委員会において第11回地域安全学会技術賞の選考を行う。

##### ⑧ 企画研究小委員会活動

企画研究小委員会において2テーマについて研究活動を実施する。

⑨ 国際学術交流

2017年11月25～27日に仙台市で開催される世界防災フォーラムにおいて、第4回アジア防災会議を開催する。

⑩ 役員選挙

定款の規定に則り、今年度は2018年度新役員の選挙は実施しない。

⑪ 東日本大震災に関する支援・研究活動の推進

東日本大震災特別委員会による被災地支援・研究活動の実施、東日本大震災学協会連絡協議会への参画を行う。

⑫ 防災学協会連合組織への参加

下記の発表をはじめ、「防災学協会連携体」が主催、連携するシンポジウム等に参加し報告を行う。

- ・ 第3回防災学術連携シンポジウム（2017年4月15日）（於：熊本県庁本館地下大会議室）  
ポスターセッション  
菅野拓（人と防災未来センター）

⑬ 文部科学省リスクコミュニケーションのモデル事業の継続実施

科学技術人材育成費補助事業「リスクコミュニケーションのモデル形成事業（学協会型）」を継続実施し、自然災害分野におけるリスクコミュニケーションの諸課題の実践的な研究を学会として先導する。このため、次の企画において本事業の成果の発表、意見交換等を行う

- i. 2017年度地域安全学会春季研究発表会特別セッション（2017年6月9日：沖縄県石垣市商工会館・商工会ホール）
- ii. 地域安全学 夏の学校2017 ―基礎から学ぶ防災・減災―（2017年8月7日：同志社大学東京オフィス）
- iii. 2017年度地域安全学会秋季研究発表会特別セッション（2017年11月10日：静岡県地震防災センター）

## 5) 2017年度予算

## 収入の部

(単位：円)

科 目	2017年予算	2016決算	備 考
1.会費収入	3,704,600	3,803,000	正会員:7,000円×478名(532名×90%) 学生会員:2,000円×76名(85名×90%) 賛助会員100,000円×2社
2.寄付金収入	0	0	
3.受取助成金等	10,000,000	10,000,000	
4.春季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	500,000	495,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×50名
イ 梗概集販売料	190,000	178,820	1冊:4,000円×45部 CD1枚1,000円×10枚
2)雑収入			
ア 懇親会費	455,000	462,000	懇親会参加費:6,500円×70名
イ 視察費	315,000	213,000	見学会参加費:4,500円×70名
ウ その他	0	0	
小 計	1,460,000	1,348,820	
5.秋季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	400,000	400,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×40名
イ 梗概集販売料	160,000	144,285	1冊:4,000円×40部
2)雑収入			
ア 懇親会費	375,000	360,000	懇親会参加費:7,500円×40名、2,500円×30名
イ 視察費	0	0	
ウ その他	0	0	
小 計	935,000	904,285	
6.東日本大震災連続ワークショップ			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	280,000	280,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×28名
イ 梗概集販売料	60,000	59,332	1冊:2,000円×30部
2)雑収入			
ア 懇親会費	195,000	177,000	懇親会参加費:6,000円×30名、3,000円×5名
イ 視察費	90,000	97,000	見学会参加費:3,000円×30名
ウ その他	0	0	
小 計	625,000	613,332	
7.学術			
1)事業収益			
ウ 論文集登載料	1,500,000	1,375,000	登載料 (2万円+5,000円/2ページ) ×60名
エ 論文集査読料	700,000	690,000	査読料:1編10,000円×70名
オ 論文集販売料	188,000	186,043	1冊:4,000円×47部
カ DVD販売料	20,000	15,140	1枚:2万円(会員価格)×1枚
小 計	2,408,000	2,266,183	
8.受取利息	1,000	96	
9.その他	0	204,000	
収入合計	19,133,600	19,139,716	

## 支出の部

(単位：円)

科目	①予算	②決算	備 考
1.事務局・総務			
2) 通信費・広報費	80,000	82,250	切手、送料、電話代等
3) 印刷編集費	10,000	12,960	コピー代、封筒印刷代
4) 会議費	10,000	0	監査会場代
5) 旅費交通費	250,000	191,670	監査の為の交通費、大会等事務局交通費、宿泊費
6) 交際費	20,000	0	
7) 委託費	324,000	324,000	委託費月27,000円 H29年4月～H30年3月
8) 消耗品費	20,000	20,373	消耗品、10万円以下の備品
9) 事務用品費	10,000	4,655	事務用文具等
11) 支払手数料	75,000	3,456	銀行振込手数料、役員登記手数料
12) 謝金	0	0	
14) 事務局費	2,328,000	1,953,000	委託費月194,000円 H29年4月～H30年3月
15) 租税公課	30,000	1,661	源泉所得税、利子税、登録免許税、収入印紙代等
16) 運営費	30,000	0	メダル作成費
17) 雑費等	0	0	
99) 予備費	0	0	
小 計	3,187,000	2,594,025	
2.広報			
7) 委託費	30,000	23,760	HP情報更新料・サーバ利用料
11) 支払手数料	1,000	216	銀行振込手数料
小 計	31,000	23,976	
3.総会・理事会			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	0	0	
2) 通信費・広報費	80,000	80,193	総会の案内資料印刷・発送代
3) 印刷編集費	60,000	61,416	案内送付用封筒・ハガキ・案内資料印刷
4) 会議費	160,000	162,000	理事会 会場費
5) 旅費交通費	500,000	535,630	理事会 旅費交通費
11) 支払手数料	5,000	5,832	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	
小 計	805,000	845,071	
4.学術			
1) 人件費(アルバイト給料)			
ア アルバイト給料	30,000	0	論文データ等アップデート作業代
2) 通信費・広報費	50,000	47,844	論文送料
3) 印刷編集費	810,000	803,088	論文集No.30,31 印刷料、コピー代
4) 会議費	80,000	84,410	学術委員会昼食代、飲食代
5) 旅費交通費	350,000	338,300	学術委員会参加交通費
7) 委託費	511,920	525,733	研究発表会論文システム運営費 =研：312,120+電：199,800
8) 消耗品費	5,000	0	消耗品、10万円以下の備品
11) 支払手数料	5,000	4,320	銀行振込手数料
16) 運営費	0	0	
17) 雑費等	0	0	
小 計	1,841,920	1,803,695	
5.国際交流			
11) 支払手数料	10,000	0	
13) 補助等	0	0	
16) 運営費	100,000	0	
小 計	110,000	0	

科目	①予算	②決算	備 考
6.春季研究発表会			
1) 人件費 (アルバイト給料)			
アルバイト給料	10,000	6,400	
2) 通信費・広報費	4,000	4,308	
3) 印刷編集費	190,000	199,638	梗概集No.40
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	550,000	270,180	現地見学会バス、授賞者旅費
6) 交際費	455,000	443,760	懇親会費用
8) 消耗品費	5,000	0	賞状用紙他
9) 事務用品費	5,000	0	文房具代
11) 支払手数料	5,000	1,512	銀行振込手数料
12) 謝金	30,000	0	パネリスト、パフォーマー謝礼
16) 運営費	100,000	110,260	現地見学会費用 (昼食代含む)
17) 雑費等	0	0	
小 計	1,354,000	1,036,058	
7.秋季研究発表会			
1) 人件費 (アルバイト給料)			
ア アルバイト給料	40,000	36,400	
2) 通信費・広報費	5,000	0	梗概集送料、賞状送付料
3) 印刷編集費	130,000	136,576	梗概集No.41
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	50,000	77,140	アルバイト交通費
6) 交際費	375,000	389,664	懇親会会場代、料理代
8) 消耗品費	5,000	591	賞状、賞状用筒、備品
9) 事務用品費	0	0	
11) 支払手数料	5,000	864	
12) 謝金	30,000	30,000	パフォーマー謝金
16) 運営費	260,000	365,112	昼食、飲み物代、パネル設置代
17) 雑費等	0	0	
小 計	900,000	1,036,347	
8.東日本大震災連続ワークショップ			
1) 人件費 (アルバイト給料)	20,000	5,600	
2) 通信費・広報費	5,000	3,304	
3) 印刷編集費	200,000	210,384	特別論文集No.6(CD付) 80部
5) 旅費交通費	100,000	1,780	現地見学会等バス代
6) 交際費	195,000	167,000	懇親会
11) 支払手数料	5,000	864	銀行振込手数料
12) 謝金	30,000	20,000	講師謝礼
16) 運営費	100,000	113,940	見学会、昼食代等
17) 雑費等	0	0	
小 計	655,000	522,872	
9.リスクコミュニケーション特別企画研究小委員会			
16) 運営費	10,000,000	7,261,685	
小 計	10,000,000	7,261,685	
10.その他事業			
5) 旅費交通費	200,000	121,898	研究小委員会(2つ)の旅費交通費
11) 支払手数料	5,000	3,672	銀行振込手数料
13) 補助等	30,000	30,000	安全工学シンポジウム共催分担金、防災学術連携体会費
16) 運営費	100,000	802,280	安全・安心若手研究会の運営費:100,000円
17) 雑費等	0	0	
小 計	335,000	957,850	
支出合計	19,218,920	16,081,579	
収入-支出		-85,320	